ティーチング・ポートフォリオ（教育業績ファイル）

教員氏名	益田　トッシュ

主な担当科目	サウンドプロデュース①,サウンドプロデュース②,サウンドプロデュース③,サウンドプロデュース④,音楽プロデュース論,主科サウンドプロデュース①,主科サウンドプロデュース②

2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	「本学では、学生が自ら問題意識をもち課題を見いだす主体性を育むとともに、学習過程における自己点検を通じて改善を重ねながら、目標の実現に向けた一連のプロセスを着実に経験できる教育を推進する。」
2025年の教育に関する自己評価	「主体的な課題発見と自己点検を重視した教育の結果、2年次では制作の作風に多様性が生まれ、完成度を意識して取り組む姿勢が顕著になった。3年次では高度なスタジオワークを実践できる学生が増加し、4年次ではサウンドクオリティの向上とともに歌のパフォーマンスの質的向上が達成された。」

2025年のFD活動に関する自己評価	業務の都合により、FD関連のイベントに十分参加できなかった点は課題として認識しています。しかしながら、日常の教育活動の中でFDの趣旨を意識し、授業の進め方や学生への関わり方について継続的に考えるよう努めました。特に、学生の理解度や反応を踏まえた授業改善や、より分かりやすい資料作成を心がけるなど、自身なりにFDの理念を実践に反映させてきました。今後は可能な範囲でFD活動への参加機会を増やし、さらなる教育の質向上につなげていきたいと考えています。
授業改善のために取り入れた研修内容	公式なFD研修内容と直接的に対応するものではありませんが、授業改善の一環として、習得に時間を要する学生向けに解説動画やアーカイブ資料を作成し、共有しました。これにより、学生は自分のペースで繰り返し学習できるようになり、理解が不十分な点を自主的に復習する環境を整えることができました。また、教員側としても同一内容を個別に何度も説明する必要が減り、より効果的な指導に時間を割けるようになったと感じています。

2025 年度（秋学期）「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1531　教員名：益田　トッシュ

1）アンケート結果に対する所見

学外での実務との調整により補講が多くなったことについては、学生の学修スケジュールにも配慮した授業運営が必要であると認識している。また、学生によって教員から指導を受ける機会に差が生じたことや、授業内容について十分に理解できないまま進んでしまう場合もあったことから、学修支援のあり方についても改善の余地があると考えている。一方で、授業の雰囲気については肯定的な評価をいただいており、この点は今後も大切にしていきたいと考えている。

2）要望への対応・改善方策

補講や自習の機会を適切に設けるとともに、課題への取り組みについても学生の予定や状況を考慮し、できる限り柔軟に対応する。また、授業時間外にも質問や相談を受けられる時間を設け、必要に応じて個別に対応することで、学生が安心して学修を進められる環境を整えていく。

3）今後の課題

学外での実務経験を授業に生かしながら、学生の学修機会を安定して確保することが今後の課題である。授業内での指導時間の公平性にも配慮しつつ、授業外での質問・相談にも柔軟に対応し、一人ひとりが無理なく学修を継続できるよう、きめ細かなサポートを行っていく。

以　上